

2017年3月期

決算説明会

JKホールディングス株式会社（9896）

代表取締役社長 青木 慶一郎



2017年5月26日



スマイルが生まれる住まい

JK Holdings Co.,Ltd.

2016年度

- ・新設住宅着工戸数、持ち家着工戸数と前年度を2年連続で上回る。
- ・年度後半には、主力商品であります合板の市況もよくなりまずまずの経営環境となりました。

	売上高	経常利益	当期純利益
計画	3,400億円	43億円	25億円
実績	3,399億円	43億円	27億円

2017年度

- ・人口減少という構造要因はありますが、雇用や所得環境の改善、政府の住宅支援対策の拡充、歴史的な低金利といった下支え要因に大きな変化はないと予想。
- ・着工戸数についても伸びの高かった前年度実績を若干下回る水準で推移するものと見込んでいます。
- ・平成29年10月には創業80周年ということもあり中間配当9円（うち記念配当2円）、期末配当8円、年間配当17円と増配を予定しております。

	売上高	経常利益	当期純利益
計画	3,500億円	46億円	28億円

J Kホールディングス(株)について 4ページ

(1) 会社概要	5
(2) 事業概要と主なグループ企業	6
(3) 事業範囲の拡大	7
(4) グループ中核企業ジャパン建材の事業紹介	8
(5) ジャパン建材フェアの様子	9
(6) PB商品Bullsの販売状況	10
(7) J K木構造・木質化グループの取り組み	11

2017年3月期決算概要 12ページ

(1) 事業環境 - 合板市況の推移	13
(2) 業績サマリー	14
(3) 長期業績の推移	15
(4) 事業別の売上高・営業利益推移	16
(5) 主要連結子会社の業績推移	17
(6) 連結B/S、キャッシュ・フローの状況	18

補足資料 19ページ

(1) 業績予想	20
(2) 利益処分に関する基本方針及び配当金	21
(3) ジャパン建材、大建工業がI B Sに“初”出展	22
(4) 秋田グルーラム 釈迦内プレカット新工場完成	23



J Kホールディングス(株)について

企業理念

「快適で豊かな住環境の創造」

「快適で豊かな住環境の創造」を企業理念に掲げ、日本の住環境を少しでもよくするため、すべてのお客様に貢献することを目指しています。

特に、商売上ではお客様が儲かってこそ我々も初めて儲かるという観点から、「すべての取引先のお役に立つ事を目指す」をモットーに、共存共栄の精神で経営に当たっています。社内研修でも会長をはじめ、役員が必ず講義の時間を持ち、社員に対して経営理念の共有化を心掛けています。

基本情報（2017年3月31日現在）

商号	J Kホールディングス株式会社 (JK Holdings Co.,Ltd.)	創業	1937年10月
代表者	代表取締役社長 青木 慶一郎	所在地	東京都江東区新木場1-7-22
資本金	3,195百万円	事業の内容	① 総合建材卸売事業 13社
従業員数	2,542名（連結）		② 合板製造・木材加工事業 9社 ③ 総合建材小売事業 26社 ④ その他 16社

(2) 事業概要と主なグループ企業

住宅建材の「専門商社」であるジャパン建材(株)を中核会社に、住宅関連企業をグループ傘下に展開する純粋持株会社です。

(2017年4月1日現在)

総合建材卸売事業

ジャパン建材(株)	(株)KEY BOARD
通商(株)	クロカワベニヤ(株)
JKI(株)	(株)銘林
(株)ミトモク	他 連結子会社 1社
物林(株)	非連結子会社 4社

合板製造・木材加工事業

(株)キーテック	北海道プレカットセンター(株)
日本パネフォーム(株)	(株)宮盛
秋田グルーラム(株)	(株)群馬木芸
(株)プレックコンポーネント	(株)アイチキャビネット
	他 関連会社 1社

総合建材小売事業

(株)マルタマ	(株)ブルケン東日本
(株)キタモク	(株)COMFILL
INTERRA Japan(株)	(株)ハウス・デポ・プラス
(株)ハウス・デポ関東	他 非連結子会社 8社
トップ建材(株)	関連会社 10社



その他

建設工事業

(株)エムジー建工	(株)ハウスデポ・セキ
JKホーム(株)	(株)MJテック
(株)ブル・エンジ	他 関連会社 1社

倉庫及び運送業

(株)JK CARGO
(株)ジェイケー物流

資材取次業

インテラUSA社
他 非連結子会社 3社

フランチャイズ事業

(株)ハウス・デポ・ジャパン

旅行・保険代理業

JKスマイル(株)

住宅ローン仲介業

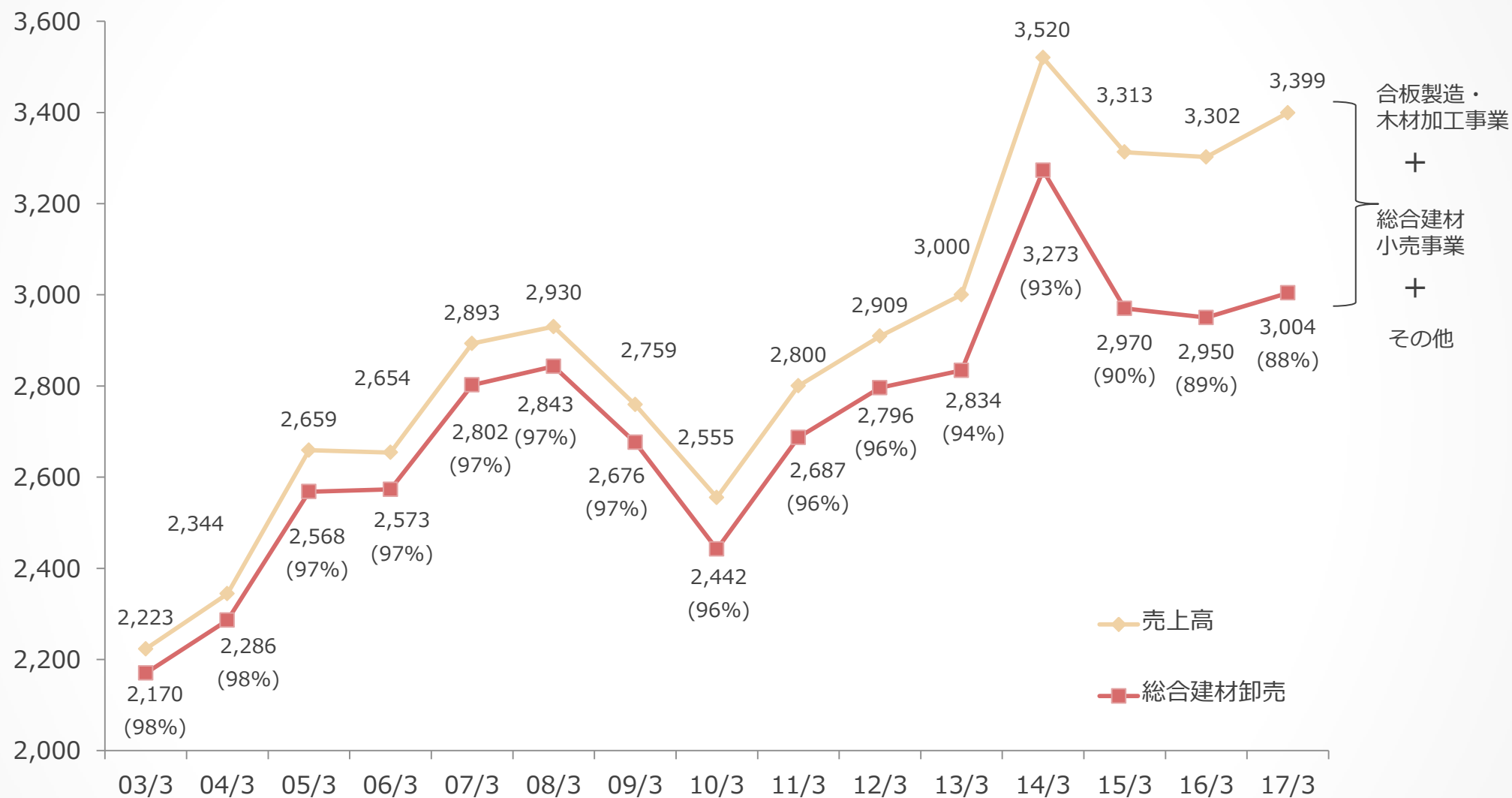
(株)ハウス・デポ・パートナーズ

不動産賃貸業

ジャパン建材沖縄(株)

(3) 事業範囲の拡大

(単位：億円)



(注) () は、売上高に対して総合卸売建材の売上が占める割合になります。

(4) グループ中核企業ジャパン建材の事業紹介

ジャパン建材(株)は一軒の住宅を建てるために必要とされる、さまざまな部材・資材の販売（卸売）を主な事業内容としています。



・素材

合板・木材・石膏ボード・断熱材

・外装・サッシ

外壁材・屋根材・サッシ・玄関ドア・エクステリア

・内装材

床材・建具・収納・階段

・水廻り

キッチン・ユニットバス・洗面化粧台・トイレ

・省エネ機器

太陽光発電・蓄電池・HEMS・エコキュート

…etc.



(5) ジャパン建材フェアの様子

毎年東京ビッグサイトにて年2回開催される当社最大のイベントで業界最大の展示即売会である。
第37回の展示会は3月17日・18日に行い、「住まい方・暮らし方-Road to 2020-」をテーマに揚げ、
2020年に始まる「省エネルギー基準の適合義務化」に向けて提案やセミナーを行いました。

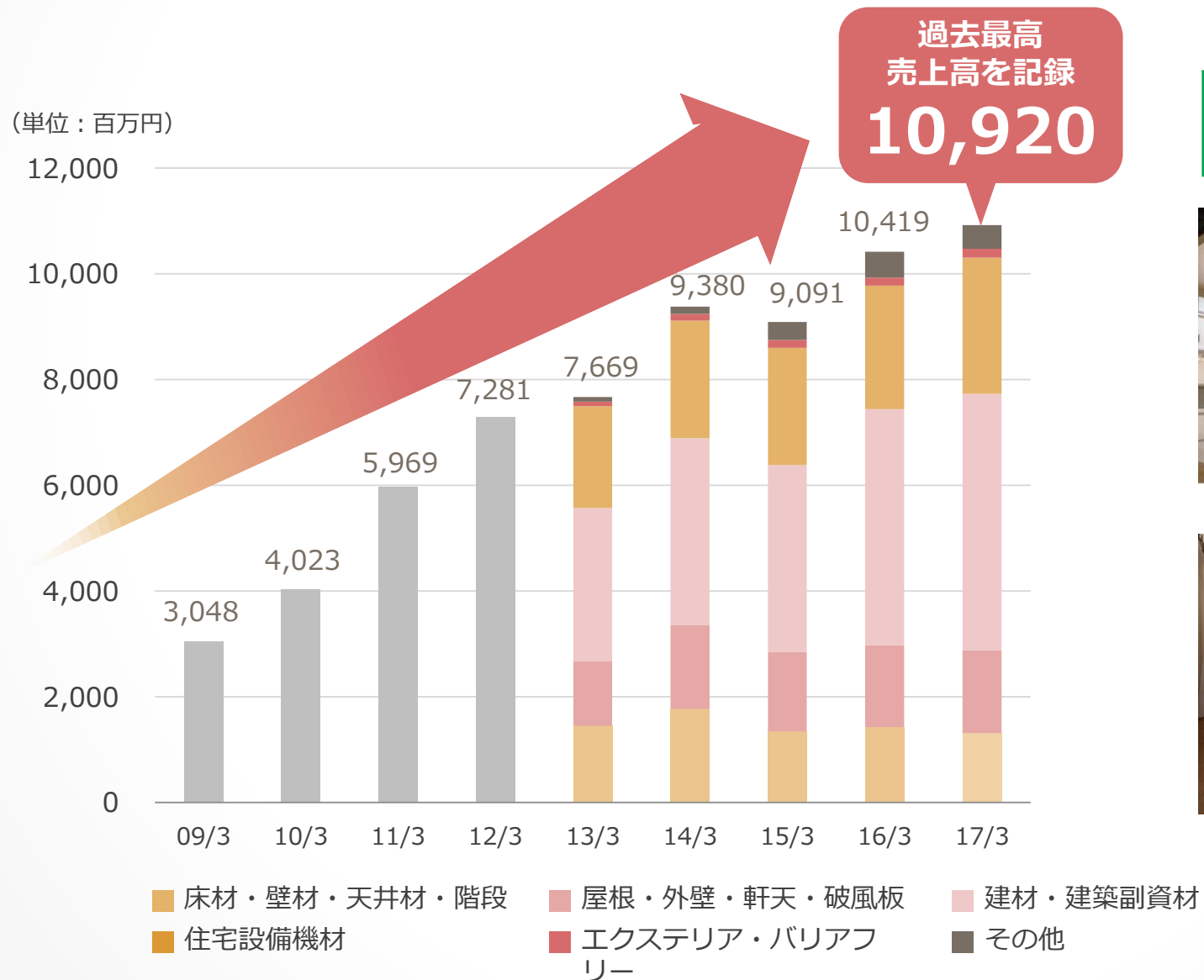
	第34回 ジャパン建材 フェア (15年8月)	第35回 ジャパン建材 フェア (16年3月)	第36回 ジャパン建材 フェア (16年8月)	第37回 ジャパン建材 フェア (17年3月)
売上実績 (計画比) (単位：百万円)	51,700 (104.4)	51,600 (101.2)	52,700 (101.5)	53,400 (101.5)
動員実績 (計画比) (単位：人)	24,522 (100.0)	25,149 (102.6)	24,084 (100.0)	25,255 (103.1)

(注) () は対計画比



(6) PB商品Bullsの販売状況

平成28年度は新商品の発売によって断熱材や透湿シートの販売を拡大した。
来期は引き続きジャパン建材の強みである基礎資材に注力し、今後普及が見込まれるZEH住宅に関わる 照明・サッシ・屋根・断熱材と屋根に力を入れていき、売上比率10%（合板を除く）を目標にしていく。



(7) JK木構造・木質化グループの取り組み

公共関連の工期が第3～4Qに集中しており、各社受注案件無事終了いたしました。
非住宅の木造躯体・木質内装合計、グループ全体で30億達成いたしました。
今後は、公共建築物、民・官、中大規模まで、受注域を拡大し通期の業績安定が課題となります。



施工事例



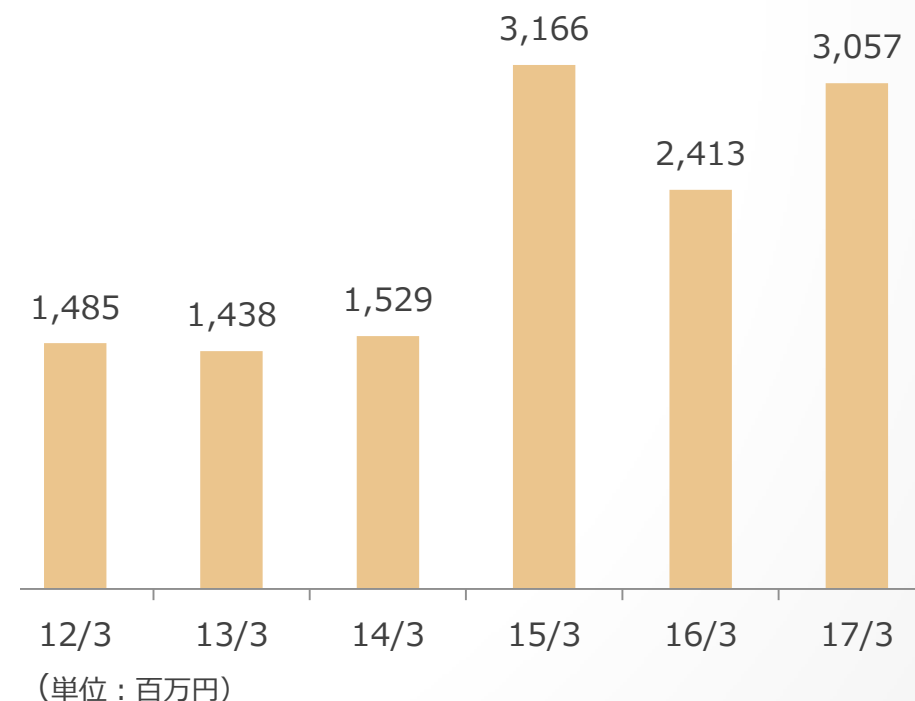
東急電鉄 戸越銀座駅
第2回 ウッドデザイン賞2016
建築・空間・建材・部材分野
ソーシャルデザイン賞受賞



東京ゆりかご幼稚園
第10回 キッズデザイン賞
最優秀賞「内閣総理大臣賞」受賞



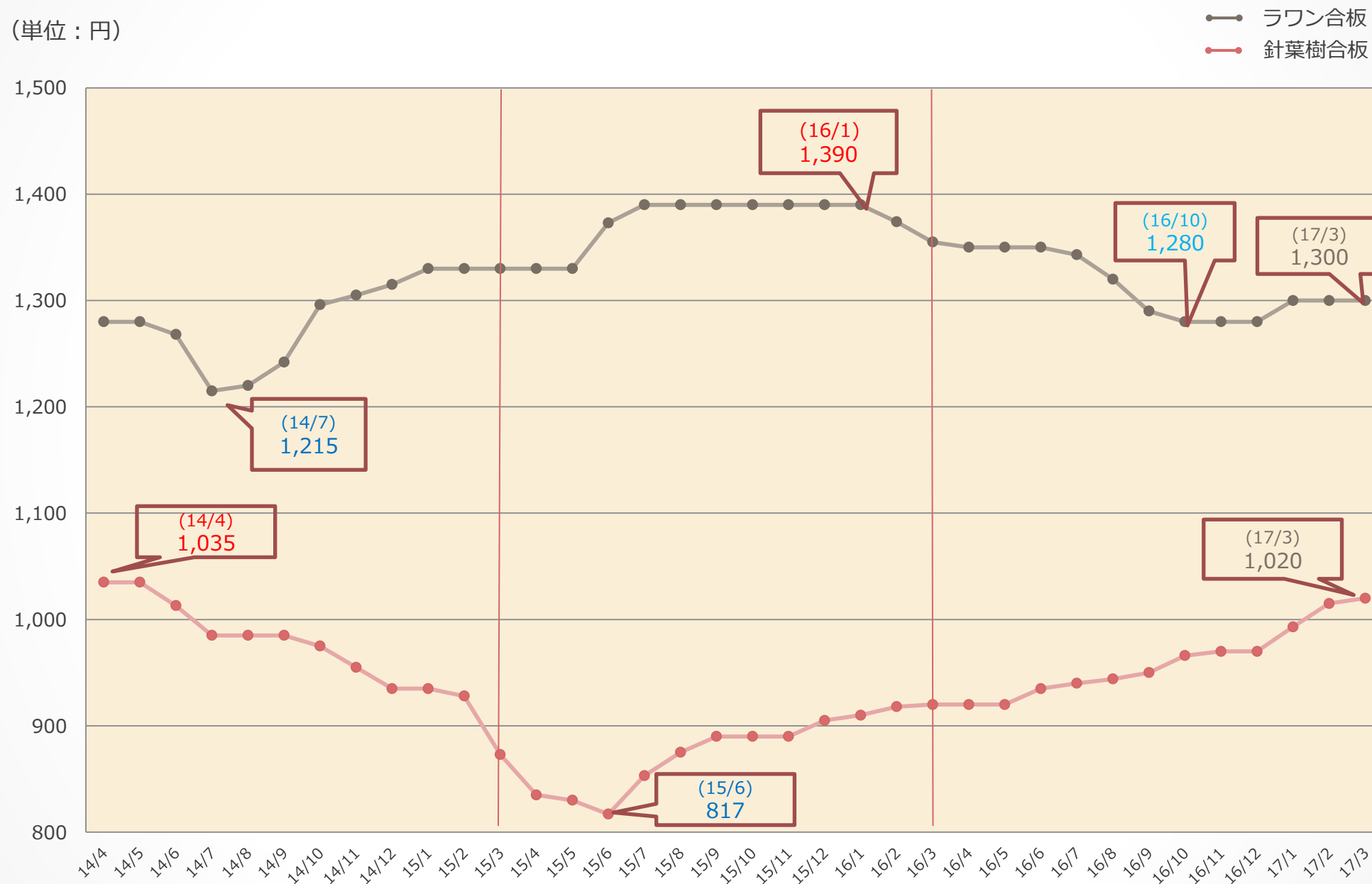
完了物件 売上高



2017年3月期決算概要

(1) 事業環境 - 合板市況の推移

(単位：円)



(2) 業績サマリー

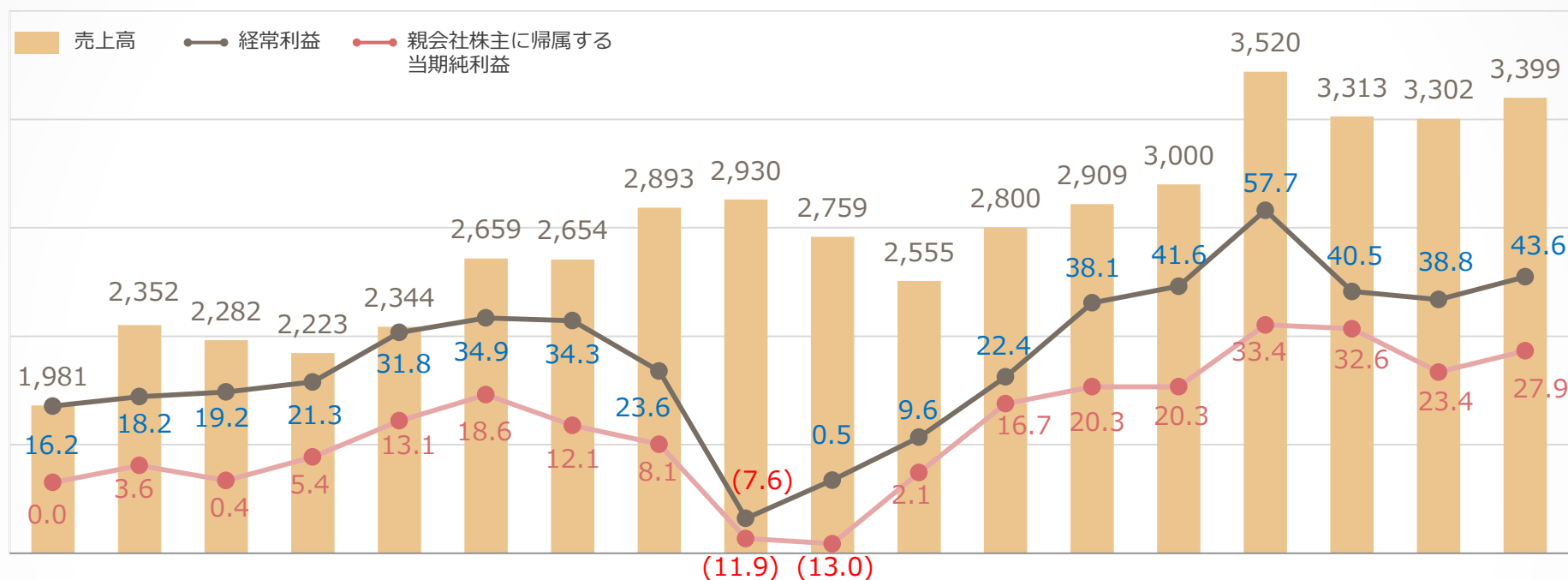
■ 売上高	3,399億円	: 前年比 2.9% 増
■ 営業利益	45億円	: 前年比 12.4% 増
■ 経常利益	43億円	: 前年比 12.4% 増
■ 1株当たり配当金	15円	

(億円)	16年3月期	17年3月期							
	通期	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第4四半期 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	通期 計画
売上高	3,302	810	846	893	847	1,657	1,741	3,399	3,400
売上総利益	314	78	83	88	86	161	175	337	327
売上高総利益率	9.5%	9.7%	9.8%	9.9%	10.2%	9.7%	10.1%	9.9%	9.6%
営業利益	40	7	11	17	9	18	27	45	46
営業利益率	1.2%	0.9%	1.3%	1.9%	1.1%	1.1%	1.6%	1.3%	1.3%
経常利益	38	6	10	17	8	17	26	43	43
経常利益率	1.2%	0.8%	1.2%	2.0%	0.9%	1.0%	1.5%	1.3%	1.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	23	5	6	11	5	11	16	27	25
当期純利益率	0.7%	0.6%	0.7%	1.2%	0.6%	0.7%	0.9%	0.8%	0.7%
EPS (円)	74.4	-	-	-	-	-	-	89.6	78.5
DPS (円)	15.0	-	7.0	-	8.0	7.0	8.0	15.0	15.0
ROE (%)	7.4	-	-	-	-	-	-	8.2	-

(3) 長期業績の推移

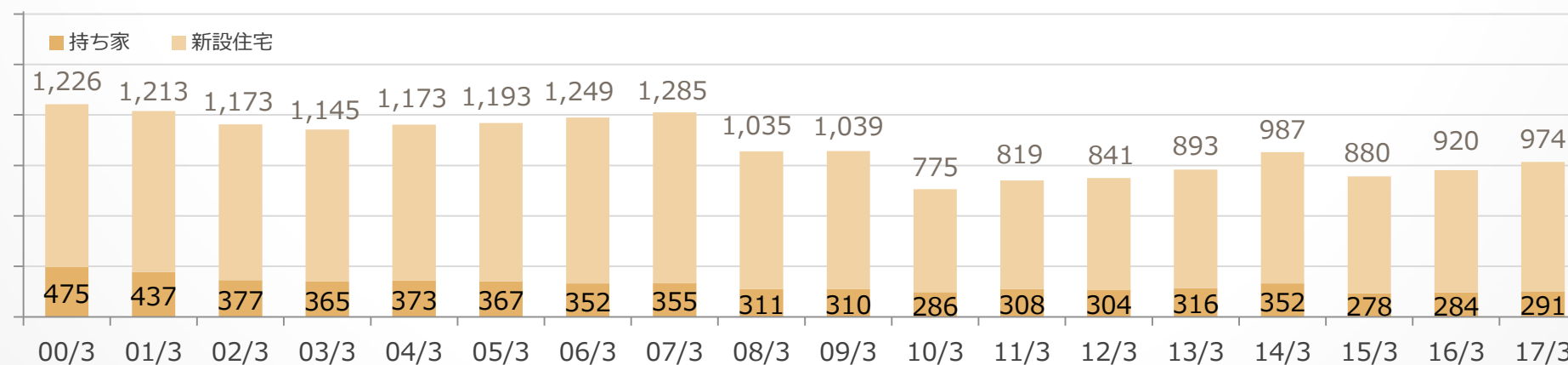
業績

(単位：億円)



住宅着工

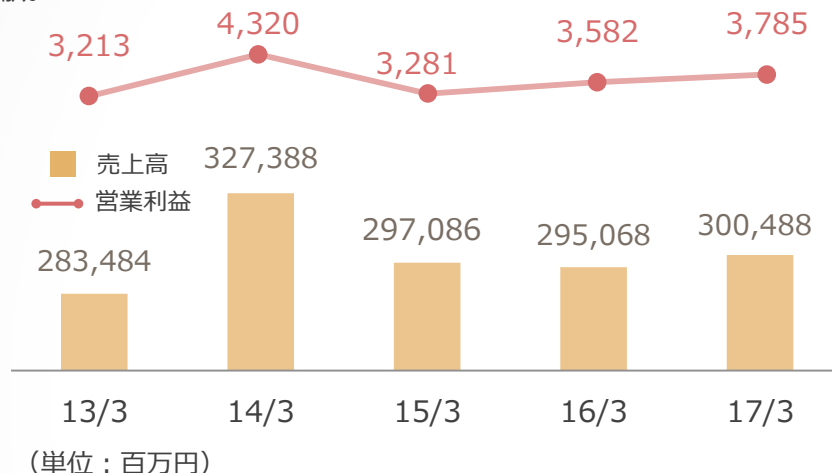
(単位：千戸)



(4) 事業別の売上高・営業利益推移

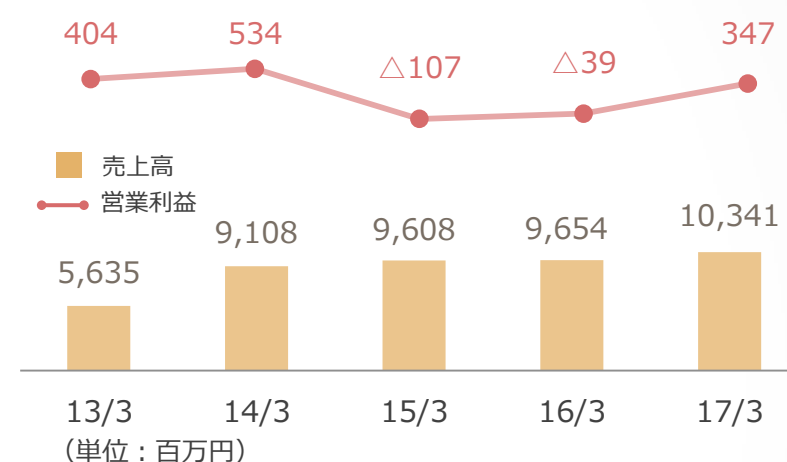
① 総合建材卸売事業

建材、住宅機器等の住設建材群は、総じて市場の伸びと同程度の拡大を図ることができた。当社グループの主力取扱商品であります合板の市況回復を受け、特に利益面で貢献。



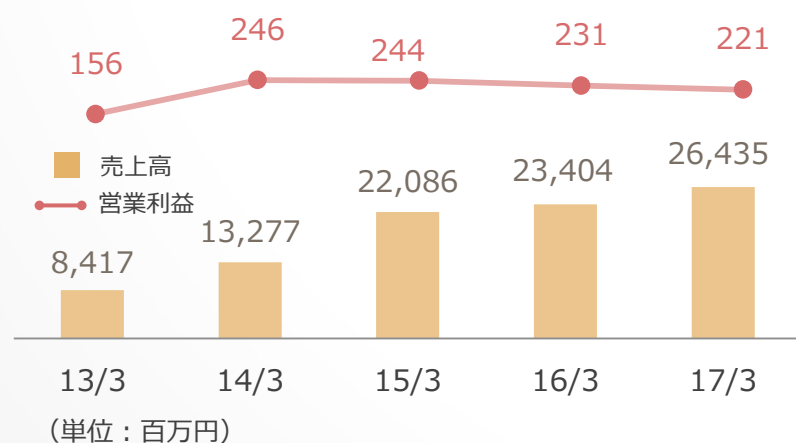
② 合板製造・木材加工事業

合板製造は主力商品であるLVLが賃貸住宅向けや非住宅向けを中心に引き続き好調を維持し、増収増益。木材加工事業は総じて増収増益基調で推移。

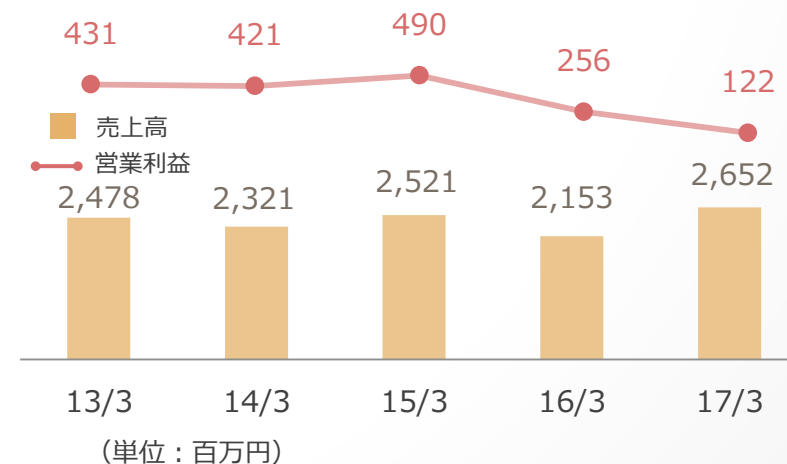


③ 総合建材小売事業

統合等により規模が拡大し売上げ増加するも、採算面では苦戦。

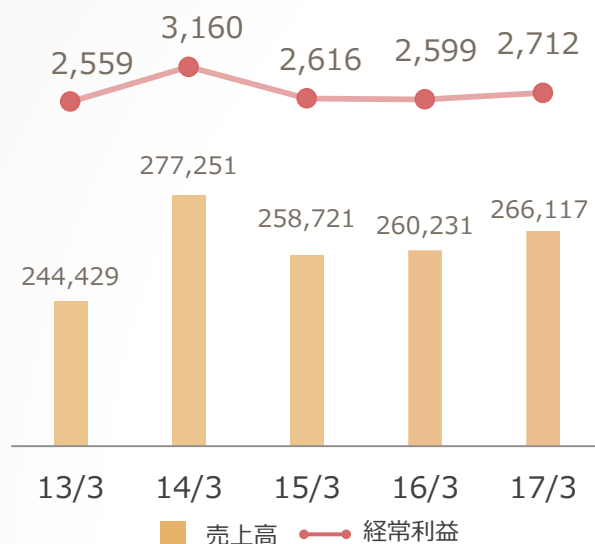


④ その他



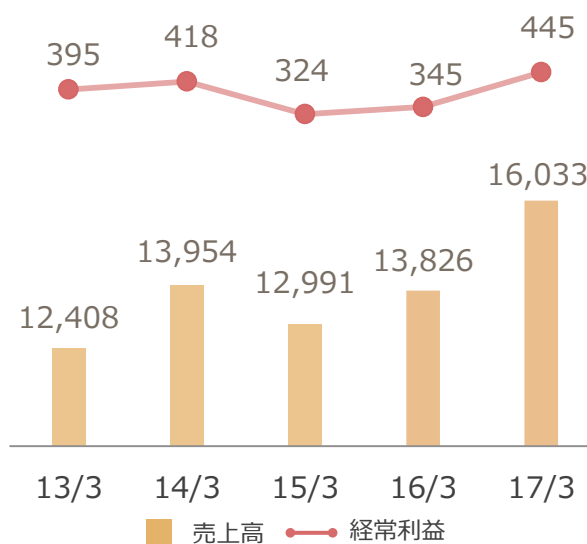
(5) 主要連結子会社の業績推移

① ジャパン建材(株)



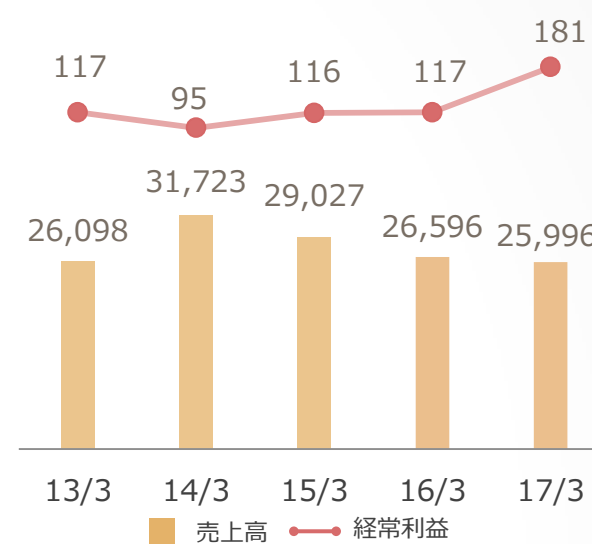
(単位：百万円)

② 通商(株)



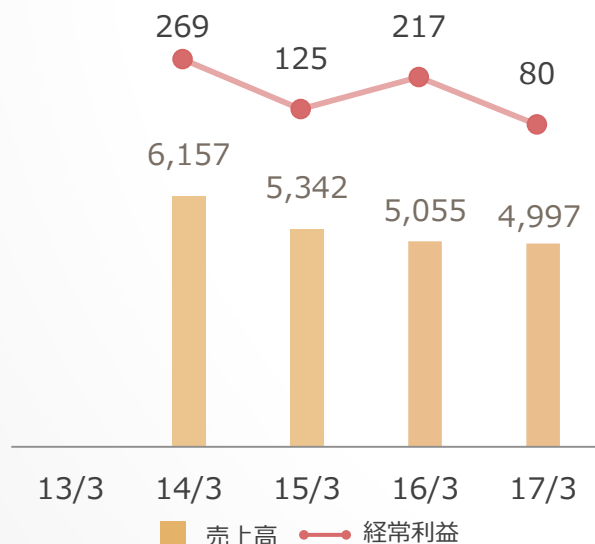
(単位：百万円)

③ 物林(株)



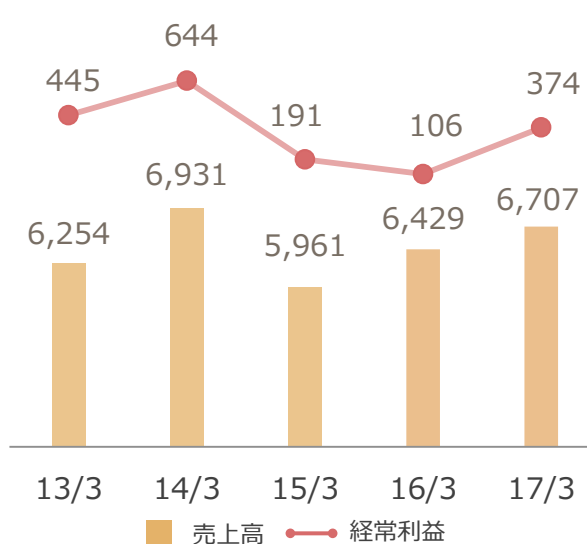
(単位：百万円)

④ (株)銘林



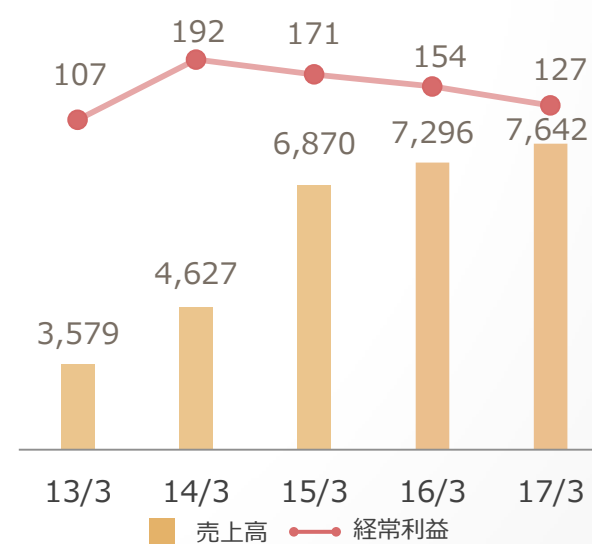
(単位：百万円)

⑤ (株)キーテック



(単位：百万円)

⑥ (株)HD関東



(単位：百万円)

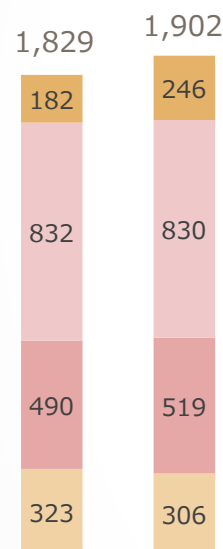
(6) 連結B/S、キャッシュ・フローの状況

貸借対照表

流動比率（倍）



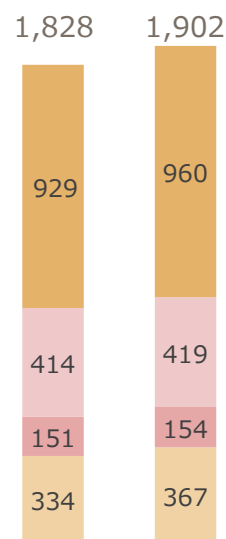
資産



自己資本比率（%）



負債・純資産



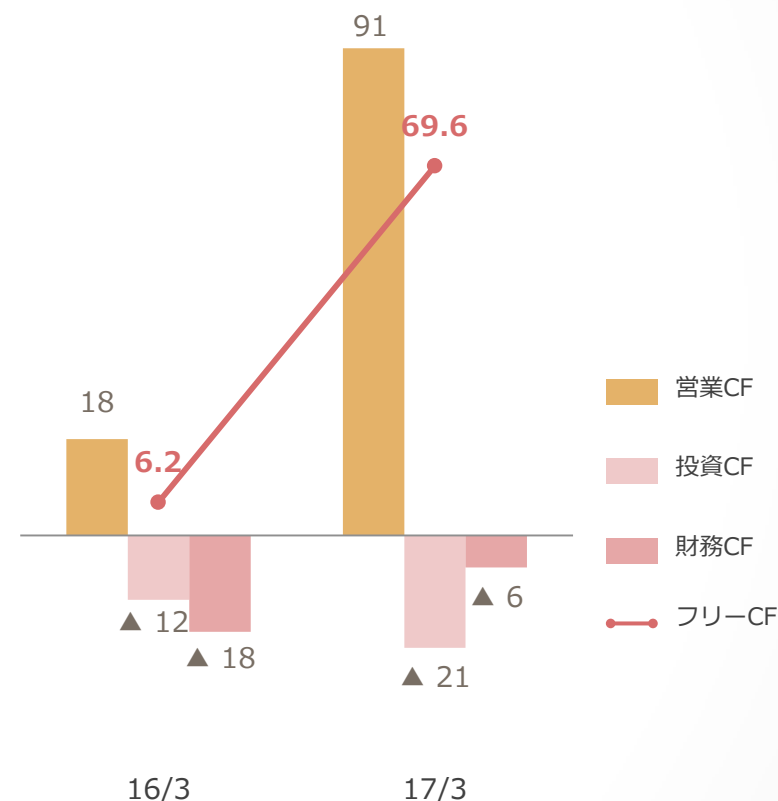
現金及び預金
 受取手形及び
 売掛金
 有形固定資産
 その他

支払手形及び
 買掛金
 有利子負債
 その他負債
 純資産合計

16/3 17/3

（単位：億円）

キャッシュ・フロー



（単位：億円）

（注）フリーCF＝営業CF＋投資CF



補足資料

(1) 業績予想

■売上高	17年3月期（実績）	3,399億円	⇒	18年3月期（計画）	3,500億円	増減比	3.0% 増
■営業利益	17年3月期（実績）	45億円	⇒	18年3月期（計画）	50億円	増減比	8.8% 増
■経常利益	17年3月期（実績）	43億円	⇒	18年3月期（計画）	46億円	増減比	5.3% 増
■1株当たり配当金	15円						

（単位：億円）

	17年3月期			18年3月期		
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 計画	下期 計画	通期 計画
売上高	1,657	1,741	3,399	1,710	1,790	3,500
売上総利益	161	175	337	168	177	345
売上高総利益率	9.7%	10.1%	9.9%	9.8%	9.9%	9.9%
営業利益	18	27	45	23	27	50
営業利益率	1.1%	1.6%	1.3%	1.3%	1.5%	1.4%
経常利益	17	26	43	21	25	46
経常利益率	1.0%	1.5%	1.3%	1.2%	1.4%	1.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11	16	27	13	15	28
当期純利益率	0.7%	0.9%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%
EPS（円）	-	-	89.6	-	-	90.9

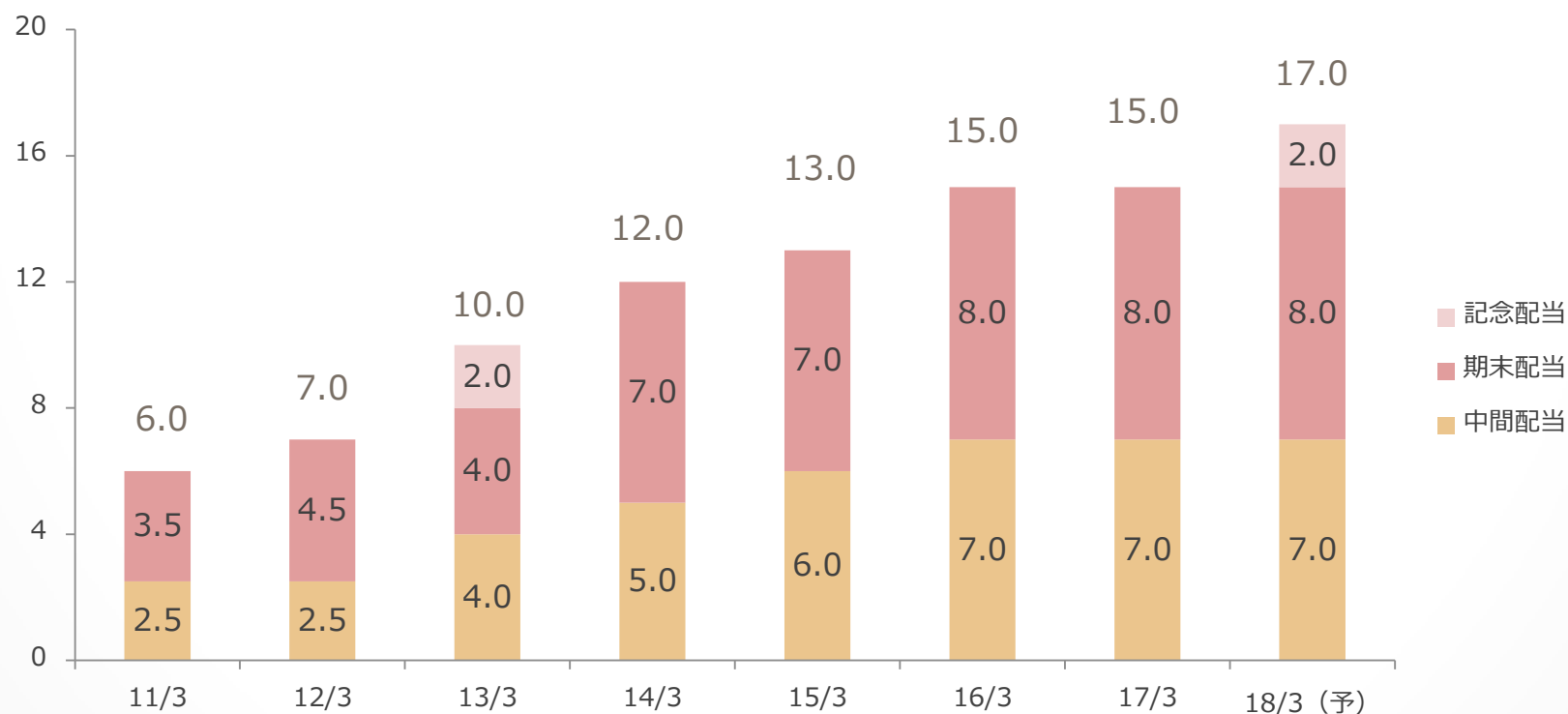
（注）通期計画のEPS（1株当たり当期純利益）の算定上の期中平均株式数については、平成29年3月31日現在の発行済株式総数（自己株式を除く）を使用しております。

(2) 利益処分に関する基本方針及び配当金

- 当社は、企業体質の強化と今後の事業拡大に必要な内部保留の充実を図るとともに、株主各位への安定かつ継続的な利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けている。
- なお、内部保留資金はM&Aや営業拠点網の整備などの成長投資に充当するほか、有利子負債の削減等、財務体質の一層の充実・強化にも活用する。
- 18年3月期の配当については、引き続き収益改善を図る中で株主還元を強化する観点から、中間配当1株当たり9円（内記念配当2円）、期末配当1株当たり8円、1株当たり年間配当17円を予想している。

配当金の推移

(単位：円)



(注) 13/3月期は創業75周年記念の記念配当を行った。

(3) ジャパン建材、大建工業がIBSに“初”共同出展

IBSへ共同出展の取り組み

アメリカのフロリダ州オーランドで2017年1月10日～12日に開催されたNAHB主催“International Builders’ Show 2017”にInterra USAは、大建工業様と共同出展を致しました。

この展示会の歴史は長く、1942年から毎年開催され今年で75回目となります。毎年約10万人の来場者数（3日間）があり、出展メーカーは1,500社を超え、ミラノサローネ・モズビルドに並ぶ世界規模の建築建材展示会となっています。そのなかで大建工業の製品（畳,ドア,床材,天井材,MDF）を展示し、多くの注目を集めました。

ブース完成写真



会場内様子



釈迦内プレカット新工場

概要

所在地 : 秋田県大館市釈迦内字野崎 5 - 5
設備 : プレカット加工設備
製品 : 非住宅対象の構造用集成材のプレカット
年間生産量 : 年約7,500立方尺
投資額 : 5.5億円

Point

中・大規模の木造案件の受注が増えていく中、より高度な技術の機械加工にも対応できること、また、これまで外注に依存していた加工を自社加工の増強により内製化を強力に推進。

今後の展望

- ・大断面集成材の加工需要増加に対応するため加工能力を従来の3倍に増強。
- ・本社にある構造用集成材工場と釈迦内工場の二つの拠点で大断面集成材業界のリーディングカンパニーとして木材産業の振興に貢献。



<プレカット新工場外観>





スマイルが生まれる住まい

JK Holdings Co.,Ltd.